



# 丸小だより

～ 実践目標 自分が輝く、みんなも輝く ～

横浜市立丸山台小学校 学校だより  
6月号  
令和5年5月30日(火)

## 体育の学習

副校長 足立 憲昭

清々しい初夏を迎え、校庭のくすの木の葉も青々と茂る季節となりました。日頃より本校の教育活動へのご理解ご協力に感謝いたします。

さて、先日の学校説明会でも触れましたが、本校では「自分づくりに関する力」の伸長を目指し、その柱のひとつとして令和5年度は体育科を中心に研究授業を行い、子どもたちの資質・能力を育成していきます。体育科の授業で目指す「自分づくりに関する力」とは、①問題解決に取り組む姿勢、②自分らしさを発揮しようとする姿勢、③協働的に行動する姿勢、④社会生活の中での協調性、⑤伝え合うことで自分の考えを深化させる力、⑥夢や希望をもち生き方を追求する姿勢、と本校では定めています。具体的には、年間を通して日々、体育科の授業改善を図りながら、外部講師に授業を公開し、指導講評を受けてさらに授業改善、というサイクルを継続します。外部講師の助言のもと校内研究を推進し、教師が目指す子どもの姿を明確にイメージしながら授業に取り組むことで、子どもたちは自分の課題解決に向かって夢中になって学習活動を進めることができるようになっていきます。

教師たちが取り組む日々の授業づくりは、試行錯誤を粘り強く繰り返す、地道でクリエイティブな活動です。どんなによい授業でも1回の授業ですぐに子どもが変化するとは限りません。しかし、4期の節目ごとに振り返れば、そのゆるやかな成長と確実なあゆみを実感することができます。私は、教師が子どもたちと体育の授業に真摯に向き合う場面を見るたびに、1年後の今頃、体育の学習が大好きな子どもたちが丸山台小学校にたくさん増えるだろうと期待しています。また、あまり体育の学習が好きではなかった子どもにとっても「前より好きになった。」という変化があらわれることも希望しています。ぜひご家庭でも、体育の学習の話をお子様としてみてください。そこから運動や友達との関わりを楽しみ、成長しようとする子どもの姿が分かると思います。「〇〇さんから跳び箱で手のつき方のアドバイスをもらったら、跳べるようになったんだ。」「友達と一緒に練習して、逆上がりができたよ。」「鬼ごっこで、思いっきり体を動かして楽しかった。」「もっとボール投げゲームがやりたかった。」「ゲームに負けて悔しかったけれども、次にもっとたくさん得点するためにみんなで話し合いをしたよ。」「〇〇さんが励ましてくれたよ。」など、こんな言葉がご家庭でも聞かれたら体育の学習は大成功だったと思ってください。教師は、子どもが楽しく真剣に活動に取り組むように授業をコントロールしています。教師の思いと子どもの熱心な取組みが毎時間積み重なることで、学習単元が終わるころには、きっと子どもたちは成長を実感することができるでしょう。併せて、子どもたちは、体育から学んだことを他教科等の学習に応用して、さらに学びを深めていくことも容易に考えられます。地域の皆様、保護者の皆様、引き続きどうぞご協力をよろしくお願いいたします。

### お知らせ

4月より欠席・遅刻の連絡や、遅刻・早退時の送迎を従来の方法に戻しております。再度ご確認ください。

○欠席・遅刻の連絡は、原則として連絡帳に理由を記入して、本校在学児童に依頼してください。

※やむを得ない場合は、電話連絡でもかまいません。

※今後、感染症の流行が拡大したときに限り、ロイロノートでの出欠連絡の入力をお願いします。

○遅刻・早退の場合は、昇降口ではなく、教室までお子さんを送迎してください。

【着任のお知らせ】 どうぞよろしくお願いいたします。

学校歯科校医 橋戸歯科医院 橋戸 潤 先生

SSW (スクールソーシャルワーカー) 大塚 聡子さんに決まりました。